

「いいとこさがし（じぶんも人もすきになる方法）」

おはようございます。（おはようございます。）

今日は、一年生が月曜朝会の仲間入り。これでぴかぴかの1年生から6年生までそろいました。緑のきれいな芝生の校庭、気持ちがいいですね。

1年生も2年生も3年生も、4年生も5年生も6年生もぴかぴかです。みんなの元気が伝わってきます。

さて、今日は「いいとこさがし」という話をします。毎年1年の初めの今頃に、この話をします。

皆さんには誰にも、とてもいいところと、ちょっとなおした方がいいな、というところとがあります。桃五小の皆さんにも589人、589通りのいいところがあるのです。でも、なかなかそのいいところを活かせないで、自分のいいところに気づいていない人もたくさんいるような気がします。だから、しぜんと自分のことが好きにはなれず、失敗したりうまくいかなかったりしたことばかりを気にして、ついつい元気が出なかったりしていませんか。

さて、毎朝、東門の外の「ももごがくどう」の前で皆さんを迎えていると、中瀬中に通う中学生にもたくさん会います。桃五の卒業生も、そうではない子たちにも、みんなに挨拶しどの子からも挨拶が返ってきます。そんななかにはついこの間まで桃五の6年生だった1年生もたくさん通ります。ピカピカの中学一年生です。

そんな新学期の先週、もと桃五小の男の子がいかにも楽しそうに元気に挨拶をして通り過ぎていきます。『あれれ…。』元気だなあ。いいことあったのかなあ。この子はあんまり挨拶の得意な子ではなく、笑顔も少ない子でした。ちょっと心配していたのですが、このところ笑顔で元気に挨拶して通り過ぎていきます。

そんな先週のある日、たまたまその男の子のお母さんとお会いしました。朝の元気な様子を話すと、最近、中学校の先生に「君は優しい素敵な子だね。」とほめられたのだそうです。中学校の廊下で通りかかった女の子が、持っていた勉強道具をばらばらと落としてしまいあわてて拾っていたそうです。そこに通りかかったこの男の子が何も言わずに拾うのを手伝ってあげたのだそうです。その様子を見ていた先生が、「君は優しい素敵な子だね。」と褒めてくれたそうです。荷物を散らかして困っていた女の子も、『ありがとう。』と心をこめて言ってくれたのだそうです。どうも、それから彼は変わったようです、という話でした。

この子はちょっとあばれんぼうさんで、よく男の子とけんかをしては叱られることが多い子でした。ですから、もともと元気な子なのに、しょんぼりしていて自信のなさそうなことが多く、心配していました。

これまでは、叱られたり文句を言われたりすることが多かったけれど、ちょっとしたことで先生から褒められ、女の子からもお礼を言われ、とってもうれしかったのでしょね。

だから、きっと、優しい気持ちで人と接することができるようになり、毎朝笑顔で挨拶ができたのでしょね。

どんな人も、いいところをほめられると、元気が出て、優しさに包まれて、いつの間にかなおさなければいけないところまで良くなってしまふものです。

お互いにいいところ探しをして、自分も人も大好きになれるといいですね。

そして、自分のいいところを大切にしてもっともっと素敵な子になってほしいと思います。

その逆に、悪いとこさがしをしたら、きっと不満ばかりで楽しいことなんてなくなってしまいそうです。

そう、人の悪口を言うよりも、人のいいところを見つけて、ありがとうって言う気持ちでなかよくできる子が素敵だなあと、わたしは思います。

桃五小の皆さんも、いいとこさがしをして、たくさん友だちを見つけて、自分のことも人のことも 大好きになってみませんか・・・か。

というお話で終わる予定でしたが、悪いとこさがしをして人に意地悪をしてしまう人もこのところちょっと見かけます。気づかないうちに人にいやな思いをさせたり、ルールを破って危ないことをしてしまう子もいるようです。

そこで、『我慢をためてはいけません』という話をします。

人に迷惑をかけたり、いやな思いをさせる人がいなくなるのが一番ですけれども、迷惑をかけられたりいやな思いをさせられたりしても、我慢をしてしまっ、それこそずっといやな気持ちのままでいる子もたくさんいるように思います。

学校にはたくさんの先生や大人の方がたくさんいて、それこそ、皆さん全員が「元気に、仲良く、楽しく」すごせるようにいつも願っています。お友達のなかにだってそういう気持ちでいる人はたくさんいます。

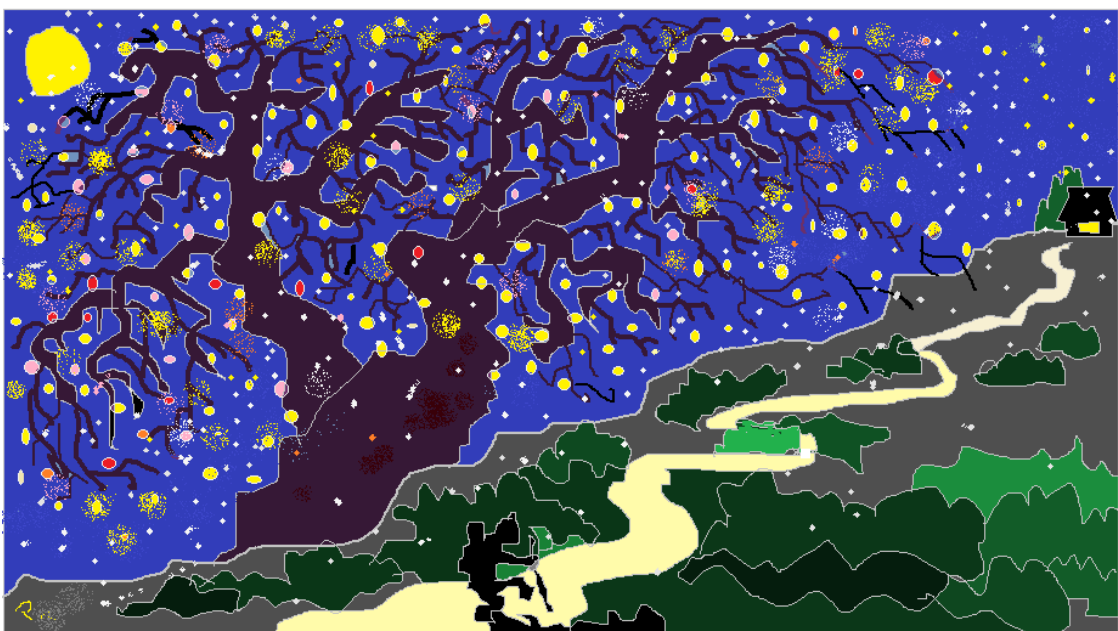
迷惑をかけられたり、いやな思いをさせられたりしている人が一人でもいないように、みんなを守ろうと思っています。我慢をせずにどんなことでも話してください。

それが、誰もが「元気に、仲良く、楽しく」すごせる桃五小にするための大事な約束です。

今日は二つのお話をしてしまいました。

『いいとこさがし』そして『我慢をせずに言い合える』、みんなが自分らしく楽しくすごせる桃五小を、創って行きませんか。

一人一人の役目、高学年に行くに従って大切・・・ですよ。



※もちもちの木、まめ太が自分のいいところに気づいて強い心の大人に近づく話